

労働条件

Job

Q. 年金手帳の役割や基礎年金番号について教えてください。

A. 現在、わが国で基礎となっている公的年金制度が「国民年金」制度です。この制度は、「老齢・障害・死亡」によって国民生活の安定が損なわれることを防ぐとともに、健全な国民生活の維持、向上に役立つことを目的として、20歳以上60歳未満の国民すべてが加入することになっています（外国人などの例外があります）。

年金手帳の役割は、日本年金機構で管理している「基礎年金番号」を証明することです。そのため、20歳になり資格取得の届け出をしたときや、20歳未満で厚生年金保険適用事業所に就職したときに交付されます。離職して国民年金に加入する場合や、再就職したとき、また将来保険給付を受けようとするときには年金手帳が必要になるので、紛失しないように大切に保管してください。なお、紛失した場合は再発行できます。

基礎年金番号制度は平成9年1月から導入され、「1人1番号」になりました。それまでは国民年金や、厚生年金保険などの年金制



度ごとに番号が管理されており、転職などによって年金手帳が2冊以上になることがありました。結果として記録上は別人の扱いになってしまっていたため、将来保険給付を受ける際に、受給資格が得られないなどの不都合が生じる場合がありました。今までの年金記録を確認して、必要なら記録統合の手続きをしてください。

最後に、今後、大幅な年金制度の改革も予想されるので、新聞やニュースなどの報道を注視してください。

愛媛県社会保険労務士会

㊟ 総合労働相談所

電話相談 月～金 16時～19時

(ただし、祝日、8/14～16、12/29～1/3は除く)

☎(907)4868

来所相談 月～金 17時まで

(予約制)